

都市再生整備計画

いといがわえきしゅうへん ひめかわけいこくちく
糸魚川駅周辺・姫川溪谷地区

新潟県 いといがわ
糸魚川市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	糸魚川市	地区名	糸魚川駅周辺・姫川溪谷地区	面積	1000 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

大目標:世界ジオパーク認定と北陸新幹線糸魚川駅開業を契機とした「翠の交流都市」実現に向けた賑わい・交流づくり
 目標1:世界ジオパークのブランド活用により糸魚川駅周辺の魅力を高め、来訪者を”おもてなしする”まちづくり
 目標2:市民や来訪者など誰もが”スムーズに移動できる”まちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

糸魚川市は、新潟県の最西端に位置し、南は長野県、西は富山県と接している。

当市には、ヒスイやフォッサマグナ、海、山、温泉等、自然資源が豊富に存在し、これらの資源をまちおこしにつなげることを勢力的に進めてきた取り組みが評価され、平成21年8月に、洞爺湖・有珠山(北海道)、島原半島(長崎県)とともに、当市全体が日本初となる世界ジオパークの認定を受けた。また、平成26年度末に北陸新幹線糸魚川駅開業を控え、交流人口の拡大を図る観光事業等の推進、新たな地域産業の創出、道路・港湾・鉄道を一体とした広域交通体系の整備等にも取り組んでいる。

当該地区は、古くから中心市街地を形成してきた駅北部をはじめ、観光・商業・産業・教育・行政・交通施設等が集積したエリアであり、糸魚川駅を中心に、来訪者を迎入れる玄関口、市民の生活拠点、公共交通機関の発着拠点として重要な役割を担っている。また、中心市街地等の活力低下に対応するため、平成18年度より4か年計画でまちづくり交付金事業(糸魚川駅北地区)を展開してきたほか、平成15年度には(都)糸魚川駅南線、(都)糸魚川駅自由通路等を都市計画決定し交通結節機能の拡充を行う等、新幹線開業に備えた事業を進めている。

このように、これまで中心市街地活性化の取り組みや新幹線開業に向けた準備を進めてきたが、当市全体の活力を高めるため、世界ジオパークの認定を契機として、世界的ブランドになった当市の地域資源を活かしながら継続的にまちづくりを推進することが求められている。

課題

当市においては、世界ジオパーク認定と新幹線開業を大きなチャンスとして捉え、これらの効果をしっかり享受できる基盤や仕組みを整えることにより、交流人口の拡大、賑わいの創出につなげ、当該地区さらに当市全体の活力を高める必要がある。また、これらの効果を享受するためには、ジオパークをはじめとした地域資源の活用と、新幹線開業を有機的に結びつけることが必要である。具体的には以下に示す課題に対応する必要がある。

・来訪意欲をさらに向上させるための仕掛け不足

平成18年度からのまちづくり交付金事業(糸魚川駅北地区)で来訪意欲の向上・維持に取り組んできたが、イベント時以外の来訪者はまだ少ない。そのため、来訪者の増加による交流人口の拡大、賑わいの創出、新幹線開業に伴い激化する地域間競争に打ち勝つために、当市が誇る地域資源を中心市街地の活性化や駅を中心とした観光拠点間の連携に活用して糸魚川らしさを十分にアピールする必要がある。

・駅部の交通結節機能の不足

当市は地形的な要因から、市内各地の拠点への移動は車の使用が必要不可欠だが、糸魚川駅部からの乗換え機能が十分でない。そのため、駅部の交通結節機能を拡充して、市民や観光・業務で訪れる来訪者に対してスムーズな移動を提供する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

□ 糸魚川市総合計画(平成18年11月策定)

・「翠の交流都市 さわやか すこやか 輝きのまち」といった目標のもと、新幹線開業に向けた交通便利性の向上、商店街の整備、豊富な観光資源を活かした観光の振興などを施策として位置付けている。

□ 糸魚川市都市計画マスタープラン(平成19年8月策定)

・新幹線駅の開業に備えて整備する駅周辺施設や都市計画道路に併せ、商業・業務機能を活性化し、都市の中心性の維持・増進を図ることとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
フォッサマグナミュージアム入館者数	人/年	フォッサマグナミュージアム入館者数	ジオサイトを活かしたまちづくりを進め、交流人口の拡大によりジオパーク中心施設利用の増加を図る。	46,411	H21	H26
定期観光バス利用者数	人/年	定期観光バス利用者数	バス乗り場を設ける等利用しやすい駅前広場を整備することにより定期観光バスの利用者数の増加を図る。	679	H21	H26
観光ボランティアガイド数	人	観光ボランティアガイド数	来訪者をおもてなしする環境を整備し、市民と来訪者の交流を図るため、観光ボランティア数の増加を図る。	21	H21	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1:糸魚川らしさを活かした駅周辺地域の魅力の向上と拠点間の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 糸魚川らしい都市景観の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・古くから中心市街地を形成してきた駅周辺の古い街並みを活かした都市景観を整備し、“おもてなし”機能を向上する。 ・ジオパークの地域資源のひとつであり、市民や鉄道ファンから広く親しまれている駅構内の糸魚川レンガ車庫の利活用を図る。 <input type="checkbox"/> ジオサイトなど市内観光拠点との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ジオツーリズムとの連携による定期観光バス等、観光二次交通の充実を図るとともに、駅部においては市内の観光拠点に係る案内機能を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存建造物活用事業(基幹事業/レンガ車庫利活用事業、市) ・事業活用調査(提案事業/レンガ車庫利活用促進検討事業、市) ・道路(基幹事業/糸魚川駅北口広場整備事業、市) ・事業活用調査(提案事業/事後評価調査事業、市)
<p>整備方針2:スムーズな移動を支える交通結節点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 乗り継ぎの円滑化 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場のバリアフリー化や雨よけシェルターの整備等、利用しやすい駅前広場にするとともに、新幹線・在来線・観光二次交通の連携強化を図るため、自由通路等の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(基幹事業/糸魚川駅北口広場整備事業、市)
<p>その他</p>	